

第 295 回

岩手朝日テレビ放送番組審議会

議 事 録

(2026 年 2 月)

2026. 2. 25

株式会社 岩手朝日テレビ

第 295 回 放送番組審議会議事録

1. 開催日時 2026 年 2 月 25 日 (水) 午前 11 時～
2. 開催場所 岩手朝日テレビ 本社 大会議室
3. 委員の出席

委員総数 8 名

出席委員数 8 名 (* : レポート参加)

委員 長	小 松	豊	
副委員 長	そのだ	つくし	
委員	石 川	健 正	*
委員	佐 竹	雅 之	
委員	高 橋	惣兵衛	
委員	松 澤	一 美	*
委員	小 川	智	*
委員	内 海	亮	*

欠席委員数 0 名

会社側出席者名

代表取締役社長	畠 山	大
常務取締役	三 浦	茂 樹
メディアビジネス 推進本部本部長		
取締役	岩 淵	美 彦
兼放送番組審議会事務局 報道制作部	矢 野	一
担当部長 プロデューサー		
報道制作部	上 野	正 嗣
ディレクター		
番組審議会事務局	鈴 木	敦

4. 議 題

(1) あいさつ

(2) 3月単発番組・1月視聴率・1月視聴者応答記録

(3) 合評課題について

「ほっとネットとうほく

捨てたもんじゃねえ！ ～この街にもう一度光を～」

*2026年1月31日（土）

午後3時30分～4時25分にて放送

(4) 次回開催について

日 時：2026年3月25日（水）午前11時～

場 所：岩手朝日テレビ 本社 大会議室

合評課題：「I A T 熱血！5時間生テレビ」

(5) その他

5. 概 要

人口減少が深刻化する、かつての“鉄のまち”釜石市で、街の可能性を信じ奮闘する若者たちの姿を追ったドキュメンタリー番組。

合評の意見

- ・釜石市の歴史や背景、産業の衰退、人口減少という課題を丁寧に整理し、起承転結のある、質の高い番組構成だった。
- ・居酒屋を開店した主人公と、イベントを企画するグループの若者たちの葛藤や成長をそれぞれ描き、最後に2つの流れが交差する構成が効果的だった。
- ・地元局ならではの密着取材で取材対象と信頼関係を築き、表情や言葉から心情の変化を丁寧に引き出していた。
- ・光が欲しい、という言葉がイルミネーションのことだけでなく、街の希望や関係性の再生を象徴するものとして機能していた。
- ・山内海斗さんがなぜ飲食店を始めたのかという動機や本音の部分について、もう少し深掘りが必要だったのではないかな。